

リハビリテーション概論

[講義] 第1学年 前期 必修 2単位

《担当者名》○小島悟 skojima@hoku-iryo-u.ac.jp 田村至 鈴木英樹 鎌田樹寛 児玉壮志 只石朋仁 依田泰知

【概要】

リハビリテーションに携わる医療専門職としての基盤を形成する導入科目として、リハビリテーションの概要を学ぶ。

【学修目標】

【一般目標】

これから目指していくリハビリテーション専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）に必要な専門知識や技術を修得するにあたり、リハビリテーションとはどのような分野であるのかを理解する。

【行動目標】

1. リハビリテーションの概念と歴史の変遷を説明できる。
2. 障害の概念、障害のとらえかた、障害者の心理的側面を説明できる。
3. ノーマライゼーションの理念、IL運動、我が国の障害者施策を説明できる。
4. リハビリテーションの4領域と関係職種役割を説明できる。
5. リハビリテーションの3つの基本的アプローチ方法とチーム医療の重要性を説明できる。
6. 医療職のプロフェッショナリズムとは何かを説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス、リハビリテーションとは	学修目標および内容の確認、リハビリテーションの概念と歴史	小島悟
2	障害の理解	疾病と障害、国際障害分類（ICIDH）、国際生活機能分類（ICF）、障害（者）の法的定義	小島悟
3	障害の理解	障害者の心理的側面	小島悟
4	障害の理解	精神障害者の処遇と法制度の変遷	鎌田樹寛
5	リハビリテーションに関わる思想と我が国の障害者施策	ノーマライゼーション、IL運動、我が国の障害者施策	鈴木英樹
6	リハビリテーションの領域と関係職種、アプローチ方法	リハビリテーションの4領域、リハビリテーションの専門職とその役割、リハビリテーションにおける3つの基本的アプローチ、チーム医療	小島悟
7	リハビリテーションの実際	身体障害に対するリハビリテーション、医療機関	只石朋仁
8	リハビリテーションの実際	精神障害に対するリハビリテーション、就労支援	児玉壮志
9	リハビリテーションの実際	発達障害に対するリハビリテーション、特別支援教育	依田泰知
10	リハビリテーションの実際	失語・高次脳機能障害に対するリハビリテーション1	田村至
11	リハビリテーションの実際	失語・高次脳機能障害に対するリハビリテーション2	田村至
12	リハビリテーションの実際	失語・高次脳機能障害に対するリハビリテーション3	田村至
13	リハビリテーションの実際	地域リハビリテーション、地域包括ケアシステム、生活支援	鈴木英樹
14	医療職のプロフェッショナリズム	プロフェッショナリズムとは	小島悟
15	医療職のプロフェッショナリズム	専門職を目指すにあたって	小島悟

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験50%、各担当者による課題50%で評価する。

【教科書】

使用しない。授業時に資料を配布する。

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

【学修の準備】

予習：配布された資料をもとに予習すること(80分)。

復習：授業内容を整理してまとめること(80分)。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

(DP2) 最新のリハビリテーション科学を理解し、保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野において科学的根拠を有する専門技術を提供できる能力を身につけている。

(DP3) 言語聴覚士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

小島悟・鈴木英樹・只石朋仁（理学療法士）、鎌田樹寛・児玉壮志・依田泰知（作業療法士）、田村至（言語聴覚士）

【実務経験を活かした教育内容】

様々な領域で展開されるリハビリテーションに携わった実務経験を活かして、実践例を示しながら教授する。